

16課 目上の人と話す

A(学習者)

【やくわり】

あなたはりゅうがくせいです。

【じょうきょう】

今、学校にいます。

あなたはなつ休みに国へ帰りました。クラスのたんじんの先生(あおき先生)におみやげを買ってきたので、それを先生にわたしたいです。

【すること】

こうしつへ行って、クラスの先生と話してください。先生におみやげをわたしてください。先生に、なつ休みに何をしたか、どうだったか、聞いてください。

B(教師)

【役割】

あなたは日本語学校の先生です。名前は青木です。クラスの担任をしています。

【状況】

今、学校にいます。今は忙しくありません。

先週夏休みが終わって、今日からまた授業が始まりました。あなたは夏休みに旅行をしました。

【すること】

あなたのクラスの学生 A さんが来たら、A さんと話してください。

① できるようになること

敬語を使って目上の人と簡単な会話ができる

② タスク

学校で、先生に話しかけておみやげを買ってきたお土産を渡す。

青木先生に先生は夏休みは何をしたか、どうだったかを聞く。

③ 準備するもの

おみやげに見立てた箱、受付のカウンターに見立てた机

④ 進め方の注意

場面:Aが先生に近づくところから始める。

話し始め:Aが先生に声を掛ける。

話し終わり:話が一段落したところで、教師が礼を言って話を切り上げる。

⑤ 評価

| 評価の観点 | ポイント |
|--|--|
| タスクは達成されたか | <ul style="list-style-type: none"> ・受付の人に声をかけることができた。 ・先生に帰国したことを伝えてお土産を渡すことができた。 ・帰国してどんなことをしたか、どうだったかを話すことができた。 ・先生に、先生は夏休みに何をしたか聞くことができた。 ・先生が夏休みにしたことについて質問をして、どんなことをしたか、どうだったかを聞くことができた。 |
| 表現は適切だったか | ※必ずしもテキストの場面会話と同じ表現を使う必要はない。 |
| 相手の言っていることや意図は理解できていたか | <ul style="list-style-type: none"> ・相手が言うことを聞いて、それに合った質問をする、ことができた。 ・相手の質問に合わせて、答えることができた。 |
| 相手が言っていることがよく聞こえなかったときやわからなかったときに、聞き返したり質問し直りすることができたか | <ul style="list-style-type: none"> ・聞き返す ・言い直す ・繰り返して言う ※必ずしもテキストの場面会話と同じ表現を使う必要はない |
| 話の進め方は適切だったか | <ul style="list-style-type: none"> ・青木先生に挨拶をして、お土産を渡す→青木先生と、帰国して何をしたかなどを話す→青木先生に青木先生は夏休みに何をしたか聞く→青木先生の答えを聞いて、さらに詳しく聞きたいことを質問する→挨拶をしてその場を去る |
| 言いたいことは相手によく伝わったか | <ul style="list-style-type: none"> ・声の大きさ ・発音 ・話す速さ |
| 話し方、表情、態度は適切だったか | <ul style="list-style-type: none"> ・相手の目を見て、話すことができた。 ・失礼がないように、お土産を渡すことができた。 ・失礼がないように、相手に質問をすることができた。 |